

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得</p>	<p>手洗い・手指の消毒の励行</p> <p>「安全の日」での安全指導(交通・感染症・災害・防犯)</p> <p>避難訓練</p> <p>お帰りの会の実施</p> <p>昼食後のくつろぎタイムの設定</p> <p>出欠の確認</p> <p>学童生活の中での健康管理指導</p> <p>整理整頓、持ち物管理の指導 挨拶指導 大掃除</p>	<p>手洗い・手指の消毒が自分自身の健康を守ることを学んでいる。面倒くさがる児童もいるが、声掛けを継続し習慣化にとりくみたい。</p> <p>学童クラブで生活する中での危険箇所や、危険な遊び方の確認、また、月に1回交通安全や感染症の予防について、水害などの災害、防犯について繰り返し話すことで学ぶことができた。また、11月には久世交番・南警察署の警察官に来ていただき、地域の防犯や交通ルールについて話をしていただき、より深い学びにつながった。</p> <p>地震や火災、水害が起こったときを想定し実際に避難をすることで、もしもの際に備えることができた。また、不審者が来た時の際の避難の方法についても学んだ。</p> <p>スムーズに帰宅できるよう班ごと並び、お帰りの会をすすめる。帰る際の注意事項を含め、その日の振り返りをみんなで確認することで様々な場面での規律を守り、また反省をしながら、学童生活を送ることができた。</p> <p>終日過ごす日は、規則正しい生活が送れるように、昼食後は静かに過ごす時間を設定した。ゆったりする時間と遊ぶ時間と、メリハリのある生活が送れた。</p> <p>さくらdaysを通じて、毎日の出欠を確認し、登録児童が安全に通える環境を整えることができた。保護者が負担なく連絡できるよう、今後も活用していきたい。</p> <p>気候や体調に合わせて自分自身で衣服を着替えたり、調整したりするように意識付けた。また、体調に変化があった時には、職員にすぐに伝えるようにすることで自分の健康管理を促した。</p> <p>一人ひとりが意識し使い方のルールを守り、破損少なく使えるように声かけを行った。さらに、日頃から片付けやすい環境づくりをし、整理整頓を促すことができた。</p>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>お楽しみ会</p> <p>お誕生日会</p> <p>デイサービスセンターとの交流 老人福祉センターとの交流</p> <p>長期休業中の朝チャレンジ</p> <p>入会のお祝い会</p> <p>夏の工作「染めTシャツ」</p> <p>京都わんぱくフェスタ絵画出展 未来のかいごコンテスト絵画出展</p> <p>ガチャガチャの取組</p> <p>ブロックやんちゃフェスタ</p> <p>どんぐりをひろいにいこう</p> <p>伝統工芸体験</p> <p>修了式</p>	<p>月1回遊びのテーマを設定し、出席者全員参加でとりくんだ。いつも遊んでいるメンバーだけでなく、様々なメンバーと集団になることで異学年の交流を深め、学童クラブとしての仲間意識を強める一助となった。</p> <p>月1回、誕生月の児童をお祝いし子どもたちの成長の節目を意識づけることができた。誕生月の児童の顔写真入りキーホルダーとバースデーカードを用意し、誕生日プレゼントとして渡した。</p> <p>久世西合同福祉会館内にあるデイサービスセンターや老人福祉センターと敬老の日やお正月の掲示物、クリスマスの発表や遊びの交流を通して交流を行い、地域の方を意識するとともに、年配の方への思いやりの心をはぐくむことができた。</p> <p>工作や点つなぎ、間違い探しなどにとりくみ、朝の時間を楽しくすごすことができた。</p> <p>新入会児童の紹介を行い、全員で遊ぶことでこれから1年間ともに過ごす仲間を意識することができた。</p> <p>朝から過ごす夏休みを利用し、自作の染Tシャツづくりにとりくんだ。どんな柄になるのか想像しながら楽しくつくることができた。</p> <p>それぞれのコンテストに出展するという意欲的に絵画制作にとりくんだ。わんぱくフェスタでは賞をとる児童もあり、児童の新しい才能を発見することにつながった。</p> <p>長期休業中の長い時間を利用して、オセロやマンカラ、けんだま、こま、読書、ソリティアなど得意な遊びや新しい遊びに集中して取り組む時間を設けた。ポイントがたまったガチャガチャができるということもあり、一生懸命チャレンジしていた。</p> <p>下京区・南区の児童館・学童クラブのおまつりに参加。今年度初めての館外活動ということもあり、おでかけとおまつりを楽しんだ。</p> <p>自主企画の一環として、子どもたちが自分たちでおでかけを計画した。向日神社まで歩いてどんぐり拾いに行き、秋を感じながら楽しくお出かけができた。</p> <p>京都染型協会の方に来ていただき、トートバッグに友禅染の技法を使って染を行う体験を行った。親子の参加、また興味深い体験ということもあり、多くの方に体験を楽しんでもらうことができた。</p> <p>1年間のしめくくりとして、今年度で学童クラブを修了する児童をみんなで継続の児童で見送る会を行った。子どもたちの成長の節目をつくることができた。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>保護者懇談会</p> <p>学童だより、各種おたよりの発行</p> <p>小学校との情報交換</p> <p>保護者交流会</p> <p>ケース検討会</p> <p>登録説明会、入会説明会</p> <p>地域活動への参加</p>	<p>子どもの様子や長期休業中の学童クラブでの過ごし方を伝えることができた。保護者からは、家庭での子どもの様子や、子育ての悩み等をあらためて話す機会となり、子育てについての意見交換や情報交換の場となった。また、年度末には児童館アンケートの結果をお伝えすることで、児童館の今後の方向性についてもお伝えすることができた。</p> <p>月ごとの行事や出来事、保護者へのおねがい事項を掲載し、保護者に伝えることができた。</p> <p>登録児童の状況や学童クラブの行事についてなど、適宜、情報交換を行うことができた。</p> <p>子どもたちの発表や児童館での遊びを保護者と一緒にとりくむことで、日常の様子を知っていただくことができた。</p> <p>すごしにくさを抱えている児童について、専門の先生方や他の児童館、小学校の担任の先生とともに情報の共有と支援の方向性について話あうことができた。</p> <p>次年度学童クラブ登録希望世帯に、登録と学童クラブについての説明を行い、スムーズに令和6年度を迎えることができるよう説明をすることができた。</p> <p>久世地域の合同のとりのくみ「親子で楽しむつどい」に参加し、地域に親しむ機会づくりができた。</p>

(令和5 (2023) 年度)

学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

京都市久世西児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
(1) 大掃除	2	56	38	29	8	0	3	1	1	0	0	0	0	136	おもちゃ・本の収納場所の確認。破損しているものの修理。棚や収納場所、おもちゃの拭き掃除。	
(2) お楽しみ会	12	345	281	251	93	8	20	1	1	0	1	1	0	1002	学童クラブの仲間意識の向上を目的とした、さまざまな遊びを行った。	
(2) お誕生日会	12	350	280	226	77	5	17	1	5	2	0	0	0	963	その月々のお誕生日の児童をお祝いし、プレゼントを渡す。	
(2) 入会のお祝い会	1	38	31	27	17	2	2							117	新入会児童を紹介し、みんなで楽しく遊ぶ。	
(2) 夏の工作「染めTシャツ」	1	51	50	48	26	6	6							187	自分で染めTシャツをつくる。	
(2) ブロックやんちゃフェスタへ引率	1	4	3	3										10	梅小路公園で開催された下京区・南区 児童館・学童クラブまつりへ参加した。	
(2) どんぐりをひろいにいこう	1	5	1	2	1									9	子どもたち自身が企画し、向日神社へどんぐりひろいに行った。	
(2) デイサービスセンターとのクリスマス交流	1	15	13	12			2						48	90	クリスマスの発表をデイサービスセンターの利用者の方に見ていただき、また昔からある遊びを通して、年配の方とともに遊んだ。	
(2) 伝統工芸体験	1	3	2	3	1			32	1			5	23	70	京都染型協会の方に講師にきていただき、親子で友禅染の体験を行った。	
(2) 修了式	1	29	28	23	6	0	2							88	学童クラブ修了の節目として、式を行った。	
(3) 保護者懇談会	3	12	7	9	2	0	0	14	0	0	0	0	78	122	子どもの様子や長期休業中の学童クラブでの過ごし方、また年度末には児童館アンケートについて伝える。	
(3) 保護者交流会	1	2	2	3				17	2					37	63	学童クラブ親子どうし、また職員と発表や遊びを通じて交流を行った。
(3) ケース検討会議	1												8	8	8	すごしにくさを抱えている児童について、専門の先生方や他の児童館、小学校の担任の先生とともに情報の共有と支援の方向性について話あった。
(3) 登録説明会	1												53	53	53	次年度学童クラブ登録希望世帯に、説明をする。
(3) 入会説明会	2							1	1				97	99	99	令和6年度学童クラブ入会内定世帯対象に、説明をする。
(3) 親子みんなでつながろうへ参加	1	6	2	2	2									12	12	地域のおまつりへ参加し、さまざまな遊びを楽しんだ。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとに異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること